

EAGLE / EAGLE EYE™ かんたんガイド

1 お使いになる前に…

電源は、直流 12V ~ 17V で稼働します。

家庭用コンセントに繋ぐと、一瞬で内部回路を焼損するだけでなく火災の原因となり大変危険です。

絶対に家庭用コンセントに繋がらないでください。

家庭用コンセントに繋がらない

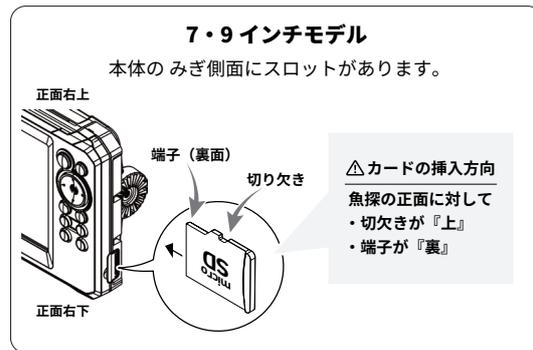
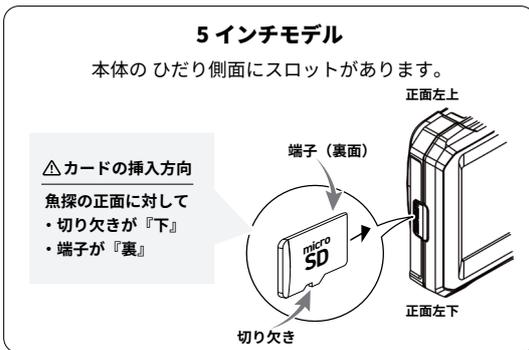


2 準備

■ マイクロ SD カード

地図カードをカードスロットに差し込みます。32GB までのカードであれば使用可能です。

差し込む際はカードの向きに注意してください。



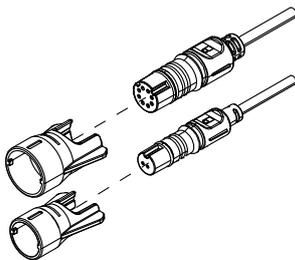
※EAGLE / EAGLE EYE のカードスロットにはバネ式のロック機構がありません。奥までしっかりと差し込んでください。

※カードは正しい向きで真っ直ぐに差し込んでください。間違った向きがやカードが斜めになった状態で無理矢理差し込むと、カードスロットの故障の原因となります。

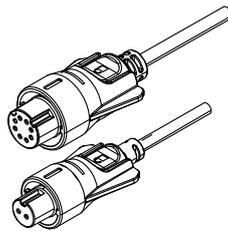
■ ケーブルロックカラーの取り付け

ケーブルのツイストロック機構を使うために、振動子および電源ケーブルへ、付属のカラーを取り付けします。

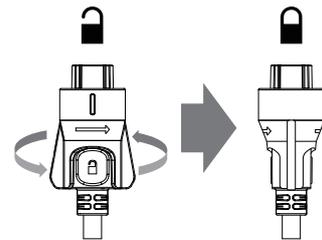
カラーの向きを間違えないようご注意ください。



図の向きでカラーをしっかりと差し込みます。かなり力を入れないと奥まで差し込まれません。



カラーが差し込みされれば、引っ張っても抜けません。カラーは完全に固定されず、カタカタと少し動きます。



南京錠のマークを上にして本体へ差し込み、カラーを時計回りに 90 度回転させると、ケーブルが本体へロックされます。

3 操作

ボタン名： 電源 エンター ページ

■ 振動子の選択 (EAGLE シリーズ)

本魚探は振動子を挿しただけでは自動で認識することがありません。設定で正しく選択する必要があります。

- (1) ボタンを押して電源をいれます。
- (2) 電源が入るとロゴが表示された後、警告画面が表示されます。 ボタンを押して『同意する』を選択します。
- (3) デバイスの構成画面は、『閉じる』を選択します。
- (4) デバイスの登録画面は、『後で知らせてください』を選択します

- (5) ボタンを押してホーム画面に移動します。
- (6) ホーム画面左上の 設定ボタンを押して設定画面へ移動します。
- (7) 設定画面左側のメニューから『ソナー』を選び、右側に表示された項目から『Transducer』を選びます。
- (8) 振動子の一覧が表示されるので本体に取付している振動子モデルを選択します。

トリプルショット HD 振動子 → 『TripleShot HD』

HDI スキマー 83/200 振動子 → 『HDI M/H-9』

上記の通りカーソルを合わせて ボタンを押して決定します。

※振動子の選択が間違っていると正しく映りません。

■ 振動子の設定 (EAGLE EYE)

EAGLE EYE はソナーの初期設定が必要です。設定が未完了の場合は、電源を入れた後、しばらくすると画面上に設定を促すポップアップが表示されます。また、設定画面からでは、水深のオフセットや水温の校正、振動子のビーム角度の調整も行うことができます。

- (1) ボタンを押して電源をいれます。
- (2) 電源が入るとロゴが表示された後、警告画面が表示されます。 ボタンを押して『同意する』を選択します。
- (3) デバイスの構成画面は、『閉じる』を選択します。
- (4) デバイスの登録画面は、『後で知らせてください』を選択します
- (5) ActiveTarget ソナーというポップアップが表示されたら、『Configure now』を選択します。
- (6) 『水の種類を選択してください』と表示されるため、淡水で使用する場合は『真水』を、海水で使用する場合は『塩水』を選択します。

※設定画面から設定を行う場合

設定画面左側のメニューから『ソナー』を選び、右側に表示された項目から『ActiveTarget インストレーション』を選択します。

設定可能項目

- 水深のオフセット
- 水質の選択
- 水温の校正
- アングルオフセット：
-10°～+10°の間でビーム角度を上下に調整します。
- ヘディングオフセット：
-180°～+180°の間でビーム角度を左右に調整します。

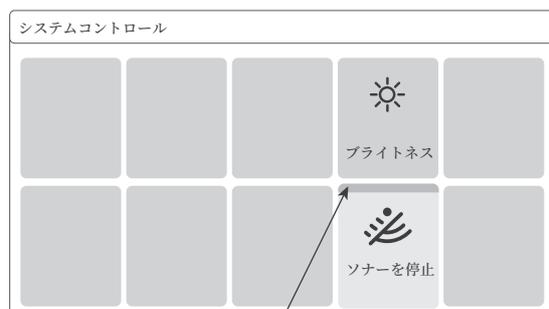
■ 振動子の発信と停止

振動子は必ず水中のみで動作させるようにしてください。

水上で振動子を発信させると空打ちとなり、本体損傷の原因となります。

水に浸かっていない時は、必ず発信の停止設定を行ってください。

- (1) ボタンを短く 1 回押してシステムコントロールパネルを開きます。
- (2) 『ソナーの停止』にカーソルを合わせて ボタンを押します。
- (3) パネルの上部にオレンジのラインが表示されれば振動子は発信停止状態となります。
- (4) 発信停止の状態から発信を開始するには、振動子が水中にあるのを確認後、再度システムコントロールパネルを開き、『ソナーの停止』にカーソルを合わせて ボタンを押します。
- (5) パネル上部のオレンジのラインが消えれば振動子は発信状態となります。



オレンジのラインが入っているとソナー（振動子）が停止状態になります。

■ 画面の明るさ調整

⏻ ボタンを短く何度か押すことで、画面の明るさを調整することができます。繰り返し ⏻ ボタンを押すと画面の明るさが順番に変わっていきます。

また、システムコントロールパネル内の『ブライトネス』パネルからも調整することが可能です。

■ GPS の自動初期設定について

魚探本体に内蔵されている GPS は、**最初の 1 回のみ**自動設定の時間が必要になります。

最初に測位する際は、電源を入れた状態で上空が開けた屋外に本体を置いてください。

※天候など信号の受信状況によっては 10～20 分程度かかることがあります。

■ その他の操作と日本語取扱説明書について

かんたんガイドに記載している以外の操作や設定方法については、日本語取扱説明書をご確認ください。

日本語取扱説明書については、右記 LowranceWEB サイト内のライブラリページからダウンロード可能です。

<https://out-break.com/lowrance/library/#lb-eagle>



4 保証登録

魚探本体は購入日から**1年間のメーカー保証**があります。保証を受けるには**WEBからの保証登録**が必要です。

製品が届いてから**7日以内**に保証登録を行ってください。

■ メーカー保証内容

保証登録は、保証登録証の受信をもって登録完了となります。

保証内容については、WEB保証登録完了後にメールでお送りする保証登録証をご確認ください。

メールが届かない場合は、販売元までご連絡ください。

■ 保証登録フォーム

以下の URL より登録を行ってください。

<https://out-break.com/form/lowrance>



5 不具合が発生したら… (クレーム申請)

初期不良および正常使用にも関わらず魚探本体に不具合が発生した場合、メーカー整備品（リファービッシュ品）との交換対応が可能です。リファービッシュ品は、保証期間内であれば無償交換となります。

交換対応を行うには、**専用フォームより購入情報や不具合症状のクレーム申請**が必要です。

※魚探の修理対応は行っていません。

※振動子や電源ケーブル、アクセサリなどは初期不良のみのご対応となります。

※クレーム申請によって本体が使用できない間の代替機の貸出等は行っていません。

※保証期間満了後に不具合が発生した魚探については、有償にてリファービッシュ品との交換をご案内します。

ただしモデルによってはメーカーより整備品の提供ができない場合もございます。

■ クレーム申請に必要なもの

- ・アウトブレイクオンラインの注文番号
- ・製品のシリアルナンバー
- ・シリアルナンバーが識別できる画像
- ・不具合内容が分かる画像

■ クレーム申請フォーム

以下の URL より登録を行ってください。

<https://out-break.com/form/lowrance-customer>

